

の社会人など多くの方がボランティアとして現地に赴き、ジャパンハートの活動を支援しています。

私たちが大切にしているのは「命と『心』を救う医療」。患者さんの心を救うことも、医療の大切な役割だと考えています。治療や手術などの直接的な医療が命を救う一方で、非医療者であっても誰かの心を救い、「生まれてきてよかった」と思ってもらえることができるのです。

各国の未来を担う次世代の育成

ジャパンハートは、日本から派遣した医療者が治療にあたるだけでなく、いずれは各国の医療を担い、命を救う現地の人材育成にも取り組んでいます。カンボジアでは、貧困のため就学をあきらめていた子どもたちを対象に、日本からの里親制度によって医療者を目指す学生を育てる「夢の架け橋」、ミャンマーでは両親をエイズで亡くして孤児になる

などした子どもたちを受け入れる養育施設「DreamTrain (ドリームトレイン)」の運営などが、次世代の育成活動にあたります。

ジャパンハートは今後も、国内外問わず、「医療の届かないところに医療を届ける」活動を続け、すべての人が生まれてきてよかったと思える社会を実現するため、多くの皆様に支えて頂きながら、歩みを止めることなく活動を続けていきます。

ロータリーでは、川合菜月さんがグローバル補助金奨学生としてイギリス・ウエストミンスター大学院で国際公衆栄養学を学ばれ、このジャパンハートカンボジアが運営する小児病棟で栄養管理部マネージャーとして現在活躍中です。(ロータリーの友2021, 5月号掲載)



会員増強クラブフォーラム 諫山悦子委員長

本日は、会員増強維持委員会による会員増強クラブフォーラムです。

今期の会員増強に向けて活動方針が示されました。

入会前の交流も重要ですが、入会後の新会員へのサポートは、非常に大切です。

★活動方針

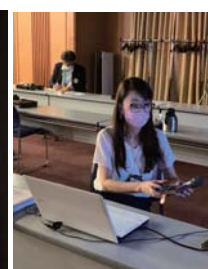
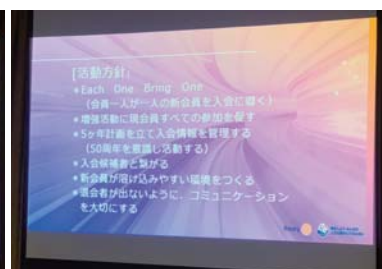
- ①Each One Bring One(会員一人が一人の新会員を入会に導く)



諫山委員長

- ②増強活動に現会員すべての参加を促す
- ③5か年計画を立て入会情報を管理する(50周年を意識し活動する)
- ④入会候補者と繋がる
- ⑤新会員が溶け込みやすい環境をつくる
- ⑥退会者が出ないように、コミュニケーションを大切にする

5年後の50周年には、会員を50名とすることを目標に取り組んでいきます。ご協力よろしくお願いします。



幹事報告

◎第2720地区 堀川貴史ガバナーエレクトより

2022～2023年度 地区委員推薦のお願い

役職：各部門の委員

期間：2022～2023年度

提出期日：10月8日(金)

◎第2720地区 大分キャピタルロータリークラブより

衛星クラブ設立のご報告

クラブ名：

大分キャピタル Oli Oli ロータリー衛星クラブ

創立会員数：10名